

成果と課題

成果

- ① 思考を表出させる手段の充実(ハンドサイン、リアクション、ICT 等)
- ② ふり返り活動の工夫による自尊感情の向上

課題

- ① (教科書との対話、全員での対話を通した)学習内容の確実な定着
- ② 対話の質と量の精査



今後の展望

- 「活発な対話の姿」の具現化・共通理解
- 対話が苦手な児童や算数に苦手意識をもっている児童の、学びに向かう力の向上
- 学びがつながるふり返り活動の模索

ご指導いただいた先生

東京学芸大学・玉川大学講師

元都算研会長

長谷 豊先生

東京学芸大学教授

西村 圭一先生

筑波大学附属小学校教諭

盛山 隆雄先生



小金井市立前原小学校

〒184-0013 小金井市前原町 3-4-22

昨年度の研究リーフレットがこちらよりご覧いただけます！



研究主題

活発な対話を引き出す指導の工夫

～算数科の授業を通して～



児童アンケートから

5月と11月の学校評価アンケート結果

Q1. 自分の考えを、ペアやグループの相手に分かりやすく伝える努力をしていますか。



Q2. 自分の考えを、みんなの前で分かりやすく伝える努力をしていますか。

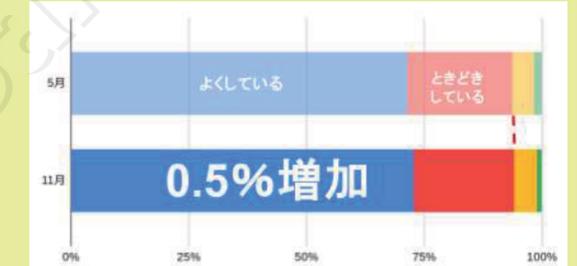


各学年の対話の手だてが成果につながった

Q3. 算数の授業では、友達との話し合いを、学習を理解することに生かしていますか。



Q4. 算数の授業では、問題を解決するために、自分から取り組み、自分の力で考えようとしていますか。



学習内容の複雑化 ← 対話で解決していく姿

本校で続けてきた「活発な対話」への取組が児童の対話意識を向上させ、困難な問題も自力で解決していこうとする姿勢につながっています。

本校の研究について

研究主題に迫るための授業の視点

「問い」への関わらせ方

児童一人一人が「解いてみたい!」と主体的に問題と関わることができるように、問題提示の仕方を工夫しました。



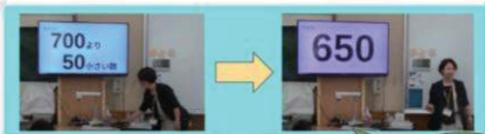
ふり返りからの問いの設定



ゲーム性



比較



答えが出ているよ!

違和感



実生活

導入

「対話的な学び」を促す工夫

対話の目的を明確化し、授業の本質（サクセスワード）に迫っていくことで、本時のねらいを児童全員が達成できるようにしました。

等質・異質のグループ構成

よりよい考えを見出す



友達の考えから広げる

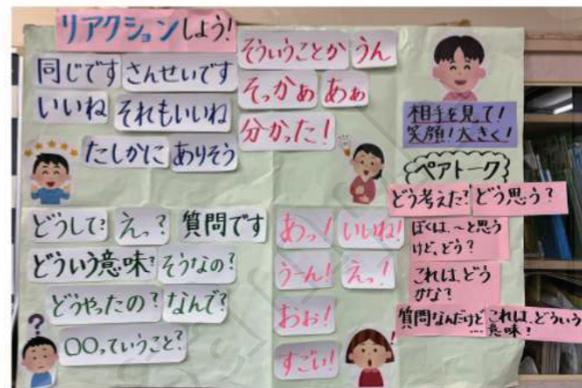


動作化

対話への参加の意欲づけ

意図的なペア交流

相違点・共通点を考える



リアクションのレポーターを増やす

展開

【問題把握の場面】

（児童）
「え、これからどうしたいの。」
「〇〇はわからないんですか。」
「できないんじゃないの。」
「〇〇なるはず!」
「前に〇〇だったから、△△かな。」

（教師）
「知りたいことはありますか。」
「どうなと思いますか。」
「足りないことはありますか。」
「絵や図で表すことができるかな。」

問い返しの言葉

【問題を解決する場面】

（児童）
「説明します。」
「〇〇さんの意見に付け足します。」
「〇〇さんと△△が似ています。」
「〇〇さんの△△に付け足して」
「違う言葉で言うと」
「〇〇さんの△△と違う考えです。それは」
「質問はありますか。」

（教師）
「〇〇のように考えた人がいますが、どうですか」
「もっとくわしく教えてください。」
「どうしてそうなるのですか。」
「今までの考えで使えそうなのはありますか」
「〇〇さんはどう考えたのですか。」
「続きを言える人はいますか。」
「〇〇さんの考えを自分の言葉で言える人はいますか」
「なぜその式になるのか絵や図で説明できますか」

つなぎ言葉

【まとめの場面】

（教師）
「AとBの考えの共通点なんです。」 「AとBのよかったところは何ですか。」
「大切なことは何ですか。」 「分かったことは何ですか。」
「それぞれの（考えの）よさは何ですか。」 「どんな時でも使える考えは？」
「これまでの学習と似ている所は何ですか。」

「ふり返り」の体系化

「低・中・高学年の実態に沿ったふり返りの視点」や「日常的なふり返りカード」の活用を通して、できたことへの達成感を得られるようにしました。



友達とのつながり

6年生 コラボノート



日常的なふり返り

4年生 ふりかえりカード

明確なふり返りの視点

ペアのふりかえり	
たしざんか ひきざん、どちらの しきに なるか かんがえることが できた。	◎ ○ △
ともだちと かんがえを はなして、わかることが ふえた。	◎ ○ △
じぶんの かんがえを、ともだちに わかりやすく つたえることができた。	◎ ○ △

1年生 ふりかえりシート

中学年の視点

- ①今日の学習で分かったこと
- ②友達の考えを聞いて思ったこと
- ③もっと知りたいこと、使えそうなこと、やってみたいこと（学習・生活）

低学年の視点

- ①～がわかりました。
- ②〇〇さんの考えを聞いて～と思いました。
- ③今日の考えは、No.〇の～と同じだ（にている）と思いました。
- ④今日の考えを使えば、～もできそうです。
- ⑤つぎは、～してみたいです。

高学年の視点

- ①今日の学習で分かったこと
- ②大切だと思ったこと
- ③考えが変わったこと
- ④友達の意見から分かったこと
- ⑤次回の学習につなげたいこと

展開

ふり返り